

この度は IDEリムーバブルケース をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本マニュアルは、本製品を正しく安全にお使いいただくための取り扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。「8.安全にお使いいただくために」を含め、ご使用前に必ずお読みください。

以下、ライトグレーモデルでの写真説明となります。(ブラックモデルも同様の手順で作業をおこなってください。)

1. ご使用前に

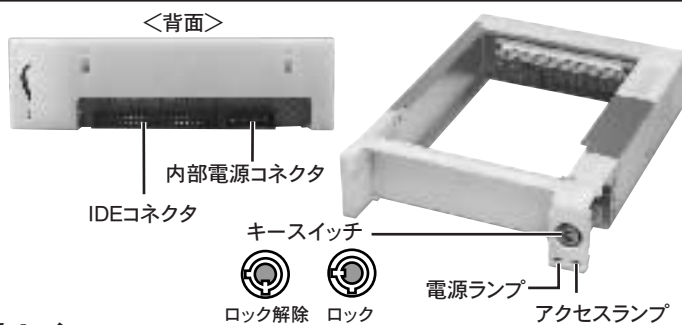
1-1. パッケージ内容の確認

万一不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまでご連絡ください。

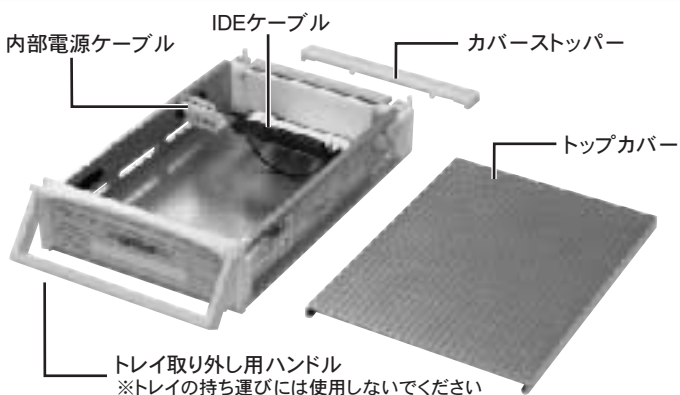
- リムーバブルケース本体
 - トレイ
 - ロックキー×2
 - 熱伝導パッド※×2
 - コネクタガード
 - インデックスシール
 - 取り付けネジセット
インチネジ×4 (ハードディスク用)
ミリネジ×4 (ケース固定用)
 - ユーザーズマニュアル (本紙)
 - 保証書(1年間保証)
- ※熱伝導パッドは、ハードディスクからトレイ底面(アルミ)へ熱を伝導させ、温度上昇を抑制するために使用します。ただし、ハードディスクにより効果が異なります。

1-2. 各部の名称

リムーバブルケース本体



トレイ



2. セットアップ

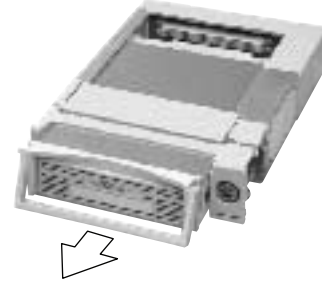


注意

取り付け時、鋭い部分で手を切らないように、十分注意して作業をおこなってください。ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

2-1. トレイをケース本体からはずします

トレイ取り外し用ハンドルを手前に引いて、本体からトレイを抜き出します



2-2. 内蔵ハードディスクをトレイに取り付けます

1 ハードディスクのジャンパーを設定します

IDE接続のデバイスは、ジャンパーピンによるMaster/Slave の設定が必要です。

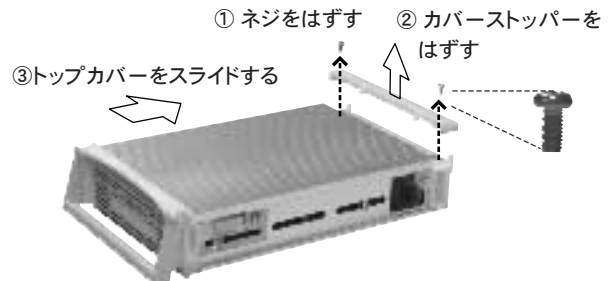
ジャンパー(MasterまたはSlave)



※ジャンパーピンの設定方法は、ハードディスクによって異なります。ハードディスクのマニュアルを参照いただくか、ハードディスクメーカーにお問い合わせください。

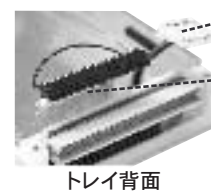
IDE接続デバイス	ジャンパー設定
本製品のみ	本製品に内蔵するハードディスクをMasterに設定。 ※Western Digital製ハードディスクを、システム唯一のIDEドライブとして接続する場合は、Singleに設定。
本製品+他製品	一方をMasterに設定、もう一方をSlaveに設定。 【例】 <p>本製品では、Masterでの接続を推奨しています</p> <p>Masterに設定 ※ケース側にジャンパー設定はありません</p>

2 トレイのトップカバーをはずします



3 トレイにIDEハードディスクを装着します

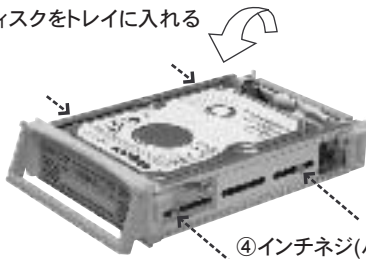
① ハードディスクを裏返し、トレイ内のケーブルを接続する



② ハードディスクのIC部やモータ部に熱伝導パッドを貼付する

※熱伝導パッドは、はさみやカッターに必要な大きさにカットして使用することもできます。

③ハードディスクをトレイに入れる



④インチネジ(ハードディスク用)でネジ止める

4 トップカバーを取り付けます

①トップカバーをスライドする

②カバーストッパーをつける

③ネジを止める

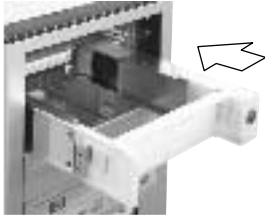


※ケーブルが隆起してトップカバーが取り付けにくい場合は、ケーブルのふくらんだ部分を指で押さえて調整してください。

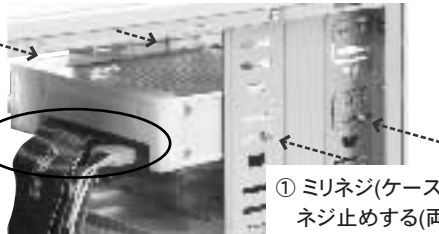
2-3. ケース本体をパソコンに取り付けます

1 パソコンの電源を切ります

2 5インチベイのパネルをはずし、ケース本体を挿入します



3 ケース本体をパソコンに固定し、ケーブルを接続します



①ミリネジ(ケース固定用)でネジ止める(両側面とも)
※ネジは強く締めすぎないようにご注意ください

② IDEケーブル、内部電源ケーブルを接続する
※配線は逆挿ししないよう十分ご注意ください。

IDEケーブル
配色



内部電源コネクタ
切り欠きとケーブル配色



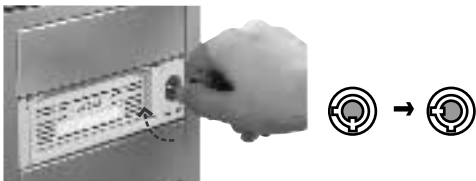
IDEケーブルの1番(たいてい赤色のラインが入っています)を1番ピン側に接続します

2-4. ケース本体にトレイを装着します

1 ケース本体にトレイを挿入します



2 ロックキーを時計方向に回し、トレイをロックします



2-5. ドライバをインストールします

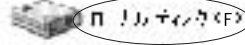
1 パソコンの電源を入れます

(ケース本体の電源ランプが点灯します)

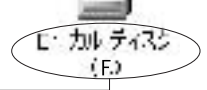
2 ドライバは自動的にインストールされます

2-6. 本製品が正しく認識されているか確認します

マイコンピュータに新しいハードディスクのアイコンが表示されているか、ご確認ください。



ボリューム名・ドライブ文字は環境により異なります



マイコンピュータにアイコンが表示されない場合は、「4. 困ったときは」(裏面)へ

3. 使い方

3-1. トレイ(ハードディスク)の装着と取り外し

注意

トレイの装着および取り外し操作(ロックキー)は、必ずパソコンの電源を切った状態でおこなってください。

1 パソコンの電源を切ります

2 ロックキーを回します

装着時: 時計方向、取り外し時: 反時計方向

3 トレイを装着、または取り外します

3-2. ハードディスクのフォーマット

注意

フォーマットすると、すべてのデータは消去されます。フォーマットを実行する際、選択ドライブに間違いがないかよくご確認ください。

【Windows XP/2000の場合】

1 [スタート]-[マイコンピュータ](またはデスクトップ上のマイコンピュータ)を右クリックし、[管理]を選択します。

2 「ディスクの管理」からフォーマットします。



①ディスクの管理を選択

②ディスクを選択し右クリック

③フォーマットを選択

※ハードディスクが表示されていない場合「4. 困ったときは」を参照ください

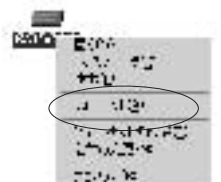
3 ボリュームラベル(ドライブ名)を入力し、[OK]をクリックします。



【Windows Me/98の場合】

1 デスクトップ上のマイコンピュータを右クリックし、[フォーマット]を選択します。

2 ボリュームラベル(ドライブ名)を入力し、[OK]をクリックします。



4. 困ったときは

Q マイコンピュータにハードディスクが表示されない。

A 以下をご確認ください。

確認1 本体フロント部の電源ランプは光っていますか？

光っていない場合、パソコンと本体を接続するケーブル（内部電源ケーブル・IDEケーブル）が正しく接続されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、ケーブルをしっかりと挿入する、別のケーブルに交換してみる、等で認識されるかご確認ください。

確認2 本体フロント部のキースイッチをロックしていますか？

キーが縦に挿入できる場合は、ロックされていません。パソコンの電源を切り、キーを差し込んで時計回りに回転し、ロックしてください。ロックされていない場合、パソコンの電源が投入されてもハードディスクに電源は供給されません。

確認3 ハードディスクは回転していますか？

起動時にハードディスクの回転音が聞こえない場合、トレイ内部のケーブルが正しくセッティングされていない可能性があります。パソコンの電源を切り、トレイを取り出して、トレイ内部のケーブルがしっかりと挿入されているかご確認ください。

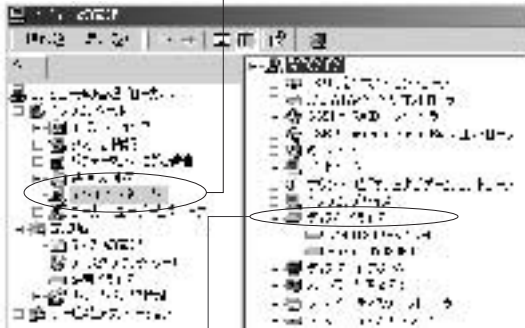
確認4 デバイスマネージャでハードディスクが認識されていますか？

デバイスマネージャでハードディスクが確認できれば、フォーマットされていない可能性があります。

【Windows XP/2000の場合】

- 1 [スタート]-[マイコンピュータ]（またはデスクトップ上のマイコンピュータ）を右クリックし、[管理]を選択します。
- 2 「デバイスマネージャ」でドライブが認識されているか確認します。

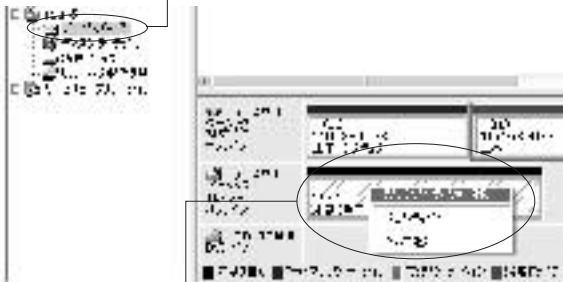
① デバイスマネージャを選択



② 「ディスクドライブ」をダブルクリックして開く
接続しているハードディスクが表示されている場合、
接続機器は正しく認識されています

- 3 「ディスクの管理」でドライブをフォーマットします。

① ディスク管理を選択



② 「未割り当て」のドライブをフォーマット
未割り当てのドライブを右クリックし、「新しいパーティション」を選択してフォーマットをおこないます。

【Windows Me/98の場合】

デスクトップ上のマイコンピュータを右クリックし、[プロパティ]-[デバイスマネージャ]でハードディスクが表示されている場合、正しく認識されています。FDISKコマンドを実行後、フォーマットをおこなってください。FDISKの詳細は、OSのマニュアルやヘルプを参照ください。

確認5 ジャンパー（Master/Slave）設定はありますか？

トレイに取り付けているハードディスクのジャンパー設定が正しくない場合、認識しなかったり動作が不安定になったりします。Master/Slaveの設定をご確認ください。

確認6 IDEケーブル長が規定内のものを使用していますか？

IDEの規格では、接続できる最大ケーブル長は45.72mmと定められています。トレイ内部のIDEケーブルを合算して、長さが45.72mmを越えると動作が不安定になる場合があります。

確認7 マザーボード（パソコン）標準のIDEホストインターフェースに接続していますか？

IDEボードなど、拡張インターフェースに接続すると動作が不安定になる場合があります。本製品は、必ずパソコンに標準搭載された（マザーボード上の）IDEコネクタに接続してください。

確認8 IDEハードディスクをパソコンに直接接続して認識しますか？

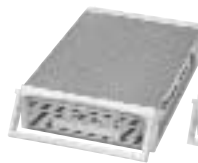
以上、すべてを確認してもなお認識されない場合は、パソコンのIDEコネクタとHDDを直接接続（本製品を経由しない）して、認識されるかご確認ください。認識する場合、本製品が故障している可能性がありますので、サポートセンターまでお問い合わせください。

5. オプション品

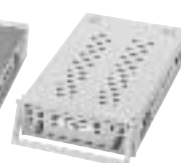
オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

型番	品名（REX-Dockシリーズ専用 交換用トレイ）
RD-35MR1ALG	交換用トレイ(アルミ・ライトグレー)
RD-35MR1ABK	交換用トレイ(アルミ・ブラック)
RD-35MR1	交換用トレイ(アイボリー)
RD-35MR1-BK	交換用トレイ(ブラック)
RD-35MR1-WH	交換用トレイ(スノーホワイト)
RD-35MR1-SV	交換用トレイ(シルバー)
RD-35MR1-LG	交換用トレイ(ライトグレー)
RD-35MR2	交換用トレイ(アイボリー・トレイ2個)
RD-35MR2-BK	交換用トレイ(ブラック・トレイ2個)
RD-35MR2W	交換用トレイ(スノーホワイト・トレイ2個)
RD-35MR5	交換用トレイ(アイボリー・トレイ5個)
RD-35MR5BK	交換用トレイ(ブラック・トレイ5個)
RD-25MR1	2.5インチ内蔵HD専用交換用トレイ(アイボリー)
RD-25MR1BK	2.5インチ内蔵HD専用交換用トレイ(ブラック)



交換用トレイ
(材質：アルミ・樹脂)



交換用トレイ
(材質：樹脂)



2.5インチHD専用トレイ
(材質：樹脂)

※HDは添付していません

型番	品名
RSD-35TP2	トレイ用キャリングポーチ



トレイ接続キット（トレイが外付けハードディスクとして接続可能に）

型番	品名
U2-IFK1	USB2.0トレイ接続キット
FR8-IFK1	IEEE1394b(FireWire800)トレイ接続キット



6. お問い合わせ・ユーザ登録

ご提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

6-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用のパソコン、OS、内蔵ハードディスクなどの環境をあわせてお知らせください。

ご質問に対する回答は、下記営業時間内となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては、弊社でのテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんびビル
TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
FAX 06-6633-3553 (FAXは24時間受付)
営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日および弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
ご質問もここから入力できます。
<http://www.ratocsystems.com/>

6-2. ユーザ登録

ユーザ登録は、下記URLより行うことができます。
<https://regist.ratocsystems.com/>

6-3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理致します。故障と思われる症状が発生した場合は、本書を参照し、接続や設定が正しく行われているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社修理センター宛に製品をお送りください。修理に関しては、弊社サポートセンターにご相談ください。



<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

7. 一般仕様

型番	IDE-MDK1ALG/IDE-MDK1ABK
名称	IDEリムーバブルケース・内蔵タイプ(アルミ・ライトグレー) IDEリムーバブルケース・内蔵タイプ(アルミ・ブラック)
対応ドライブ	3.5インチ IDE HD (ATA 133/100/66/33)、ATAPI Zip ※BigDriveを使用する場合は、マザーボードBIOSがBigDriveに対応している必要があります
バスインターフェイス	IDE
接続コネクタ	【対HD】IDEコネクタ、内部電源コネクタ 【対PC】IDEコネクタ、内部電源コネクタ 【本体→トレイ接続】REX-Dockシリーズ用コネクタ
対応OS	IDE規格に対応したOS
対応パソコン	ATAインターフェイスを装備した機種 (5インチベイに空きが必要)
電源電圧	+5V/+12V (PC内部電源より供給)
動作環境	温度: 0～55℃、湿度: 20～80% (但し結露しないこと)
筐体材質	アルミ・ABS
外形寸法	146mm(W)×214mm(L)×42mm(H) (突起部含まず)
保証期間	1年間

8. 安全にお使いいただくために

◆警告および注意表示◆

 警告	人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。

注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時鋭い部分で手を切らないように、十分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、免失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- パソコンの電源が入っている状態で、トレイの挿入や取り出し、またキースイッチのロック解除を行わないでください。データやハードディスク自体が破損するおそれがあります。本操作によるデータおよびハードディスクの破損については、補償いたしかねます。

9. ご注意

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願い致します。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートは行っていません。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承願います。
- 本製品の運用を理由とする損失、免失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記しておりません。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。